

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)	全員/選択
英語	コミュニケーション	1	3年	普通科国際コミュニケーションコース	全員

1 学習の到達目標

学習の到達目標	英語によるコミュニケーション能力のうち、とくに議論する技量の向上をめざす。詳しくは論点を的確に把握する理解能力と、論理的かつ効果的に意見を述べる表現能力を身につける。また、賛否両論のある問題に積極的に関わり、互いの意志疎通と協議を活発に行おうとする積極的な態度を養う。
使用教科書・副教材等	『Debating the Issues』(Macmillan Languagehouse)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他	考查範囲
第1学期	Warm-up	4	・授業で用いる基本的な表現の確認と定着	英語のみ使用可 音読を徹底する	中間考查
	アナウンス・リーディング	5	・英語第二公用語論、グローバル化、結婚観などをテーマとする	・スピーキングの 流暢さの向上を図る活動を毎回行う	
	レシテーション・スピーチ	6	・資料読み、情報収集、簡易ディベート、ディスカッションを行い、テーマに関する意識を深め、議論するためのコミュニケーション能力を向上する	・テーマごとに300～500語の英文レポートを課す	期末考查
	プレゼンテーション	7	・ディベートの意義と方法を学ぶとともに、トーチングマッチなどを通して、議論に必要な流暢さと論理性を養う		
	「ディベート」				
【課題・提出物等】 ・英文レポート ・ワークシート(授業中に配布して使用) ・カセットテープ(音読やスピーチを提出)					
【第1学期の評価方法】 ・定期考查(50%) ・コミュニケーション活動への参加度・ワークシート(25%) ・英文レポートなどの課題(25%)					

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他	考查範囲
第2学期	「ディベート」	8	・ディベートにおけるジャッジの方法を学ぶとともに、ディベートの試合を実践し、議論での流暢さと論理性を向上する	・スピーキングの 流暢さの向上を図る活動を毎回行う	中間考查
	「ディスカッション」	9	・グループごとに研究テーマを設定し、調査・資料作りをとおして情報収集・論理的な表現技法を習得する ・研究に基づいてプレゼンテーションとディスカッションを行い、議論での流暢さと論理性を向上する ・タウンミーティングでの役割演技を通して、さまざまな立場に配慮して意思疎通することの大切さを学ぶ	・スピーキングの 流暢さの向上を図る活動を毎回行う ・議論したテーマごとに100～200語の英文レポートを課す	期末考查
		10			
		11			
		12			
【課題・提出物等】 ・英文レポート ・ワークシート(授業中に配布して使用) ・カセットテープ(音読やスピーチを提出)					
【第2学期の評価方法】 ・定期考查(50%) ・コミュニケーション活動への参加度・ワークシート(25%) ・英文レポートなどの課題(25%)					

学期	学習内容	月	学習のねらい	活動の特記事項他	考查範囲
第3学期	「効果的なコミュニケーションとは」	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベートやディスカッションなどで効果的な議論をするために必要なことは何かを学ぶ ・コミュニケーション学の視点から、効果的なコミュニケーションの技法は何かを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーキングの流暢さの向上を図る活動を毎回行う 	学年末考查
		2			
		3			
	[課題・提出物等]				
	<ul style="list-style-type: none"> ・英文レポート ・ワークシート(授業中に配布して使用) ・カセットテープ(音読やスピーチを提出) 				
	[第3学期の評価方法]				
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考查(50%) ・コミュニケーション活動への参加度・ワークシート(25%) ・英文レポートなどの課題(25%) 				

[年間の学習状況の評価法]
各学期での評価を総合的に判断して5段階で年間の評価とする。

確かな学力をつけるアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを英語で声に出すスピーキングの練習を毎日行う ・授業で確認した英文・表現や教科書の英文・語彙などは、音読の練習を毎日行う
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中のコミュニケーションはすべて英語で行う ・課題の提出期限は厳守する

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	・コミュニケーション活動への参加度、ワークシート・英文レポートなどの課題の提出状況
表現の能力	身近な問題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中のコミュニケーション活動でのパフォーマンス ・定期考查のライティングとスピーキングの評価点 ・英文レポートなどの提出物 ・WSAテスト(「話す」は1分間に75語、「書く」は15語の流暢さを規準とする)
理解の能力	身近な問題について、英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとすることを英語で理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中のコミュニケーション活動でのパフォーマンス ・定期考查のリーディングとリスニングの評価点
知識・理解	身近な問題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある文化などを理解している。	・ワークシート・英文レポートなどの課題の完成度

3 担当者からのメッセージ

2年生から継続して、情報や自分の考えを論理的・効果的に表現することを重視します。さらに、これらを流暢に発信できるよう努力していきます。
授業では、発信能力を養うきっかけとなる活動を行いますが、本当のスピーキング能力をつけるには、ライティングなどと同じく家庭での習慣(いわゆる秘密練習)が欠かせません。当然こういった練習は大学入試にも十分に役立ちます(例、スピーキングやライティングで使える表現が増える、リスニング能力が向上するなど)。続けるとなると苦勞も多いですが、これに負けず是非ともやり遂げて欲しい。ともに頑張りましょう。